

Weekly Report



ロータリーは機会の扉を開く

創立：1980年(昭和55年)1月10日
 会長：湯澤 信雄
 幹事：山口 哲司
 クラブ広報委員長：鈴木 実
 例会日：毎週木曜日PM12:30～
 会場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008
 名古屋市中区栄1丁目3-3
 AMMNATビル7F
 TEL：052-211-3803
 FAX：052-211-2623
 MAIL：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
 URL：http://www.mizuho-rc.jp/

2020-21年度
 国際ロータリーのテーマ
 「ロータリーは機会の扉を開く」
 (ROTARY OPENS OPPORTUNITIES)

2020-21年度
 名古屋瑞穂ロータリークラブ
 会長のテーマ
 「原点に戻ってロータリーを楽しみ、力を発揮しよう」

第1928回例会

クラブテーマ：「熱地の杜・友愛・気品」

2020年7月9日(木) 雨 第2回

司会：北岡寿人 会場副委員長
 斉唱：「我らの生業」
 ゲスト：米山奨学生 梁辰(リャン チェン)さん

会長挨拶

湯澤 信雄 会長

皆さんこんにちは。ここ数日雨が続けております。蒸し暑くじめじめして鬱陶しい日が続く訳ですが、梅雨だから仕方ないと諦めております…という訳で今日は梅雨について少しお話ししたいと思います。



「梅雨」という語源につきましても、皆さまご承知のようにこの時期に梅の実が熟す頃であるからという説が一般的ですが、他にもこの時期は湿度が高くカビが生えやすいところから、カビの雨と書いて「黴雨」から同じ音の梅雨に転じたという説、この時期は「毎」日のように雨が降るので木に毎と書いて梅の字が当てられたという説、普段の倍雨が降るので倍雨というこじつけなど諸説あるようです。

他にも、旧暦で5月頃であることに由来する「五月雨」とかいてさみだれ、麦の実る頃であることに由来する「麦雨」と書いてばくうなどの別名もあるようです。鹿児島県の奄美群島では「ながし」、喜界島では「なみっさ」、沖縄では「ボースーアミ」などの方言もありますし、アジアでも梅雨のある国である台湾では「梅雨」「メイユー」、韓国では「チャンマ」、中国では黄色に梅の雨と書いて「ファンメイユー」と呼ばれるようです。

梅雨が発生するメカニズムについても少しお話ししたいと思います。日本上空では、北のオホーツク高気圧と南の小笠原高気圧が接近し、主に両者の温度差により停滞前線が形成されます。北と南の高気圧が衝突した部分で東西数千キロメートルに渡って前線ができ、数ヶ月に渡って北上していき、この前線上をいくつもの低気圧が通過し、雨が1ヶ月から2ヶ月も降り続ける。これが梅雨です。

梅雨前線は春から夏にかけて日本列島を北上しますので、一番早い沖縄地方では例年5月8日頃梅雨入りし、6月23日頃梅雨明けをします。遅い東北北部では、6月12日頃梅雨入りし、7月27日ごろ梅雨明けだそうです。私たちの住む名古屋では例年並ですと、6月8日頃梅雨入りし、7月20日頃の梅雨明けとなっております。昔は梅雨というとしとすと雨が降り続くというイメージでしたが、昨今は温暖化の影響からか末期に集中豪雨が発生することが多いようです。

先週の土日で熊本県や鹿児島県でも集中豪雨で甚大な被害があり、大勢の方が亡くなりました。犠牲になられた方のご冥福をお祈りし、また今後大きな被害のないまま今年の梅雨が明けるのを祈願して会長挨拶といたします。

出席報告

今川知也 出席委員

会員70名 出席56名 (出席計算人数53名) 出席率 88.9%

ニコボックス

今川知也 ニコボックス委員

- 皆さんに色々とお世話になりました。ありがとうございます。岡部さん卓話たのしみしております。 **鈴木 淑久さん**
- インシエーションスピーチがんばります。 **岡部 光邦さん**
- 岡部さんインシエーションスピーチ頑張ってください。 **湯澤 信雄さん**
- 楽しみにしています。 **湯澤 信雄さん**
- 今年は会場委員としてお世話になります。 **杉山 裕一さん**
- よろしくお願いします。

- 岡部さん本日のインシエーションスピーチ楽しみにしています。 **湯澤 勇生さん**
- 松波先生、久米島ではお世話になりました。ダイビング最高でした。またよろしくお願いします。ありがとうございました。 **北岡 寿人さん**
- 岡部さん、インシエーションスピーチ楽しみにしています。 **北岡 寿人さん**
- 岡部さんインシエーションスピーチ頑張ってください。 **榎田 篤弘さん 村上 学さん**
- 先日ダイビング同好会で沖繩久米島に行って参りました。北岡さんお世話になりました。 **松波 恒彦さん**
- 本日第1回理事会CAがあります。 **山口 哲司さん**
- よろしくお願いします。 **内藤 晶文さん**
- 今日もよろしくお祈り致します。 **梅村 昌孝さん**
- 岡部さん卓話楽しみにしています。 **渡辺喜代彦さん 内田 久利さん**
- 膝の半月板の手術が無事終わりました。 **内田 久利さん**
- 岡部さんインシエーションスピーチ楽しみにしています。 **鳥山 政明さん 花井芳太郎さん**
- 豪雨の災害を受けられた方にお見舞い申し上げます。 **関谷 俊征さん**
- 岡部さん、楽しみにしております。 **渡邊 将之さん**
- 老兵は死なず、ただ消えゆくのみと昔マッカーサーが言いましたが、70年後人生100年時代に老兵が再参加させていただきます。 **宮崎 信次さん**
- よろしくお祈り致します。 **大嶽 達郎さん**
- 長谷川先生、先日はお世話になりました。 **大嶽 達郎さん**
- 湯澤信雄会長、山口哲司幹事を始め理事役員の皆様新年度を迎えご活躍を期待しております。 **野崎 洋二さん 森 裕之さん**
- 1年間よろしくお祈り致します。

表彰

出席表彰 5年100%出席

広瀬 弘幸さん 森 裕之さん 村上 学さん
 鈴木 実さん 鳥山 政明さん



幹事報告

山口哲司 幹事

- 本日、7月9日(木)13:40より、第1回理事会・CAをヒルトン名古屋4階「杉の間」にて行います。関係各位引き続きお願いします。
- 次週7月16日(木)12:30より、クラブフォーラム(予算・決算)をヒルトン名古屋4階「桜の間」にて行われます。
- 次週7月16日(木)13:40より、第1回クラブ奉仕委員会をヒルトン名古屋4階「梅の間」にて行います。
- 本日、メールボックスに会員名簿を入れましたので確認お願い致します。

臨時クラブフォーラム

山口哲司 幹事

RCの定款・細則の変更について

今回定款と細則が変更になった元々の理由は、2016年・2019年にRIの方でルールが大幅に変更されました。それに伴って各クラブが新ルールに伴った定款・細則に直すようにということで、2019年からこの議論がさらに進んでおります。大きなことは、定款が標準定款といふこのクラブも同一の定款を利用することが奨励されましたので、今まで当クラブが使っていたオリジナルな定款と標準定款との違う部分を細則へ移して、当クラブのオリジナルティな今までと変わりのない運営をしていくというのが趣旨でございます。

ポイントとしては二つです。

一つ目は、RIによって決まった定款を利用することになり、それに伴って今まで当クラブの定款に記載のあった部分を細則に移しました。

二つ目は、大幅な変更によって今までの当クラブのルールより緩くなるので、今までと同じになるように今年の3月の理事会で長期ビジョン委員会から諮問された議題に沿って可決された項目を細則の方に記載しています。

基本的には今まで当クラブがやってきた運営、オペレーション方法を大幅に変えることのないように定款と細則を整えたのが今回の修正です。これに関しては、本日参加の皆さんの三分の二以上の賛成が無いと細則の変更が出来ないのでご審議よろしくお願ひ致します。

変更内容についてご説明します。定款の方は標準定款といって、クラブ名が違うだけで中身は全てどのクラブも全く一緒です。今回皆さんに特にご説明が必要なのは細則の方です。こちらは資料を見ながら進めさせていただきます。

定款第7条へ変更・定款第8条第6節へ変更

定款の変更に伴って紐づいている定款のルールの番号が変わっているのをご案内しました。その次の定款第8条第6節へ変更も同様です。

右ページ①を第二節へ追記

定款上は例会は月に2回以上行くと記載されているのですが、当クラブでは3月の理事会で決議された例会は年40回行うという従来のルールを適用いたしますので、この部分を第2節へ追記します。

右ページ②を第6節作成、追記

以前の当クラブの定款に載っていた項目をこちらに移動しました。

第1節 削除

紐づく項目が無くなったので削除しました。

第2節 24ドルへ変更

ロータリー雑誌の購読料が変更されたのに伴って変更しました。

右ページ③を第2節へ追記

以前、当クラブの定款に載っていた項目を第2節に追加しました。

第3節 削除

右のページに同様のことが記載されておりますので削除しました。

第10条(b) 削除

職業分類は定款上はなくなり、どのクラブも職業の規制なく入会できるというルールに変更されたので削除しました。

第10条第5節 出席義務規定の免除

紐づく定款の項目に合わせた番号にしました。

④解釈の仕方を追記

こちらの項目で一番大きいのはイークラブの出現です。今までのロータリーの在り方ではなく、安易に参加できる会をRIは目指しているようで、当クラブの体制の所にも郵送で行くと記載がありますが、郵送はイークラブ等ではあり得ないので電子メールやインターネットを使っただけの発信も含まれるという解釈にしますので16条の改正の下に追記しました。

以上が今回の修正案でございます。

三分の二を持って承認されたということで、7月9日付で変更致します。

ありがとうございました。

卓話

岡部 光邦さん

新会員イニシエーションスピーチ

2019年11月に長瀬憲八郎様、鳥山政明様、渡辺喜代彦様のご紹介により入会させて頂きました。半年ほどが経過いたしました。当初イニシエーションスピーチは2020年4月に予定されておりました。新型コロナウイルスの影響で2月末よりクラブ活動がなくなり私のスピーチも延期となり緊張する期間が長くなりました。ご紹介者とは愛知カンツリー倶楽部で知り合い約5年程度ゴルフを一緒に楽しませて頂いております。本クラブでは先輩方からは暖かい言葉、食事会へのお誘い等をいただき、楽しく過ごしております。本日は、52年の人生を振り返り私がどのような風変わりな歯科医師人生を過ごして来たかお話をさせていただきます。



1968年6月に愛知県碧南市で誕生しました。小中学生時代は野球少年、高校時代はラグビー部に所属し体を動かすことが好きな子供でした。高校卒業後一年間の浪人生活の後、岡山大学歯学部に入りました。工学部希望でしたが、ある時「医学部は無理だから、歯学部へ行こう。」と心変わりし

たのを覚えています。歯科医師を目指すきっかけは特にありませんでした。入学した昭和63年は岡山県のインフラが整い、新岡山空港開港、瀬戸大橋開通、岡山県立美術館開館があった年でした。特に瀬戸大橋は四国と本州を初めて結んだ橋で、その姿には感動を覚えました。開通式典には現在の上皇様、上皇后様が皇太子、皇太子妃として臨席され、ほんの一瞬でしたがお姿を拝見することができました。楽しいはずの大学生活が、暗転。私が大学二年生の時父親が脳腫瘍を発症し、5年間病氣と闘いましたが6年生の時他界してしまいました。54歳でした。優しい父親でした。もう少し長生きして欲しかったと今でも思い続けています。

父の他界をきっかけに卒業と同時に愛知県へ帰郷し、名古屋市立大学病院口腔外科に入局しました。名大病院は昭和6年に開院し、9診療科からのスタートでした。そのうちのひとつが口腔外科の前身の歯科でした。口腔関連領域の外科治療(口腔外科)を行う診療科で、入局初期の段階で口腔外科治療のみならず医科における研修を受ける機会にも恵まれました。麻酔科・ICU・救急部研修では外科手術の全身麻酔を担当しながら開腹、開胸手術を見ることも、心停止した患者さんの救急蘇生の介助・心マッサージを行う等、一般の歯科医師では経験できない臨床経験を積むこともできました。

口腔外科では主に口腔腫瘍患者を担当しました。私の行ってきた口腔癌症例を解説させていただきます。口腔癌は口(口腔)に発生するがんの総称で、口の中の部位によって舌癌、口腔底(口底)癌、頬粘膜癌、下歯肉(下顎歯肉)癌、上歯肉(上顎歯肉)癌、硬口蓋癌、口唇癌、顎骨中心性癌に分類されます。歯以外の口腔組織は重層扁平上皮からなる粘膜で覆われ、その上皮が癌化した扁平上皮癌や粘膜の下には唾液腺(小唾液腺)の癌化した唾液腺癌が発生します。また、口腔には耳下腺、顎下腺、舌下腺(大唾液腺)の管が開いており、そこから唾液が出ています。大唾液腺からも癌は発生し、口腔外科では顎下腺癌、舌下腺癌を治療対象とします。近年口腔癌は増加傾向を示し、1975年から2016年にかけて約7倍になっている報告もあります。発生率の増加に伴い口腔癌で亡くなる患者数も増加し、子宮頸がんが亡くなる患者数が微増なのは対照的です。口腔は自身の鏡で観察可能です。しかし、口腔癌が発見されたときにはすでにステージIII 27%、ステージIV 36%と進行してしまっています。最近芸能人の進行舌癌についてマスコミ報道が多い時には、舌癌を心配されて受診される方も多かったです。現在はそれもなくなっています。口腔癌健診も皆様にお勧めいたします。開業医として10年が経ちましたが、この間に6例の口腔癌症例を発見し高次医療機関へ紹介しました。口腔を診療領域とする歯科医師が癌を見落とすことなく診察を行っていく重要性を実感しています。

医学研究は、名古屋市立大学臨床病態病理学教室にて行いました。テーマは悪性リンパ腫と唾液腺腫瘍です。唾液腺腫瘍はまれで、研究者も少なく未知なことも多い腫瘍です。その中で発生頻度が比較的高い粘表皮癌に特徴的な遺伝子異常が見つかり、その遺伝子異常の持つ分子生物学的検索と臨床病理学的因子の関係について行いました。多くの業績(論文)を発表でき、その業績が認められ日本病理学会学術奨励賞、名古屋市立大学学術賞を受賞することができました。日本病理学会は医師の学会で歯科医師の私が受賞できたことは大変名誉なこと、ご指導いただいた先生方には大変お世話になりました。病理学教室では研究の他に、病理診断、病理解剖も担当し、死体解剖資格認定も得ています。多くの病理解剖を行いました。特に「アスベストによる腹膜中皮腫」「幼児の麻疹肺炎」は印象深い症例でした。本クラブには建設系の方も多く、アスベストの怖さをお示しました。最後に、現在は一般歯科医として眼科医の妻とともに地域医療に貢献しています。今後も健康に留意し仕事もゴルフも向上心を持って行っていきたいと思います。ロータリー活動についても頑張っていきます。よろしくご指導ください。

例会のご案内

- 今週の行事 7月16日(木)
第1回クラブフォーラム(決算・予算)
- 次週 7月23日(木)
R規定により休会
- 次々週の行事 7月30日(木)
第2回クラブフォーラム(委員会方針)